

連携と交流による金沢まちづくり戦略を考える

—提案のコンセプト—

北陸連携組

Hideo MIYAMOTO

宮本 秀夫

東京で4年修行の後、金沢に戻って家業の書店を継ぎ、現在、中心市街地に4店、郊外に2店の計6店舗を営んでいます。

武蔵商店街理事長や武蔵活性化協議会会長を務め、武蔵周辺地区のまちづくりを考えながら、中心市街地と郊外の有り様やコンパクトシティ、さらに経済の活性化など、都市やまちづくり全般に関心を持っています。

Hiroshi KIDANI

木谷 弘司

金沢市役所都市計画課に在籍。平成に入ってこのかた都市計画と交通政策に関する仕事に携わり、酸いも甘いも含めて金沢のまちづくりが仕事です。

最近、全国の大学の先生方との研究活動も行っており、いろんな街を見て歩きマニアックな写真を撮ることが楽しみという、仕事と趣味の区別がつかない生活をしています。

Tadashi TSUJI

辻 匡

金沢に生まれ、金沢大学工学部を卒業後、日産自動車(株)にて電気自動車やハイブリッド車の設計・構想に10年間没頭しました。

帰郷し、家業である建材商社の辻商事(株)の経営に奮闘する一方で、(社)金沢青年会議所の副理事長として、自己修練と愛する金沢のため、まちづくり事業や政策提言にも尽力中です。

「市民パワーこそが金沢の原動力！」

背景

- ・交通網の整備が進み、広域連携・広域交流がしやすくなっている。
- ・市民生活レベルでも行政区域を超えた移動が日常的になっている。
- ・人口減少時代に突入し、交流人口の重要性が高まっている。
- ・地方の活力向上、魅力あるまちづくりが求められている。

他の都市や地域と連携することによって
金沢がもっと魅力的になるには？

広域連携組

Hiroki TAKEMURA

竹村 裕樹

金沢の名付け親「芋掘り藤五郎」で有名な山科の地に生まれ育ち、半世紀。東京での大学生生活をエンジョイして県庁へUターン。これまでに香林坊再開発や駅西副都心、金沢外環状道路、新交通など街づくりに携わり、現在に至る。私でも町会、生産組合、PTA、日仏協会など地域活動に多忙な日々を送る。毎年憧れのフランスへの旅とベ이스ターズの優勝を夢見るも、今年はどうに？

Mariko AOMI

青海 万里子

神奈川県出身の遠所者(えんじよもん)。金沢美大入学以来、金沢のほどほどの大きさと街の居住まいが身に馴染み、住み続けてはや〇〇年。金沢を終の住処にする心積もりは、もうすっかりできています。

金沢を暮らしやすいまちにするために、環境NPOやCOOPなど、さまざまな市民活動を通して、ささやかな社会実験に取り組む毎日です。

Masataka YAMAMOTO

山本 昌貴

北陸鉄道(株)に勤務。開発事業部、総務部を経て2001年から企画部に所属。主として、対外広報・社内広報、宣伝を担当。北鉄グループの「広告塔」として、全国の都市を飛び回っています。

また現在、東北大学大学院博士課程にも在籍し、公共交通という公益性の高い事業に携りながら、公共政策と地域デザインを研究しています。

北陸都市連携 ボーダレス

【テーマ】

fit 311万人のパワーが つくる快適居住交流圏

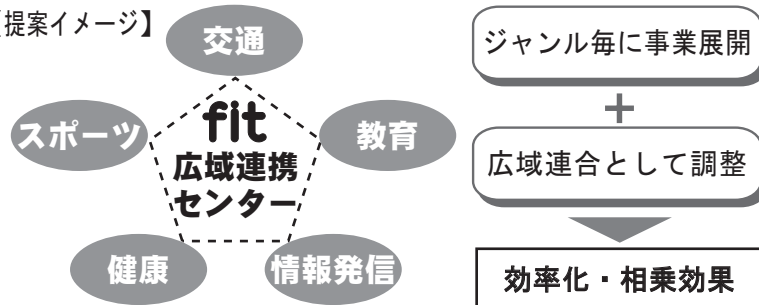


【方針】

各々の独自性を尊重しつつ
効果を発揮できるジャンルで連携

世界や全国と連携・交流できる
強く魅力的な北陸に！

【提案イメージ】



広域都市連携 グローバル

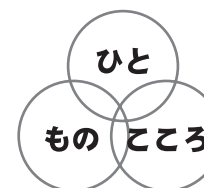
【テーマ】

ゲートウェイ

日本の玄関口・金沢

～ひと・もの・ところを創り育てる、金沢のまちづくり～

【コンセプト】



歴史・伝統・文化を活かす

人づくり・ものづくり・心づくり

金沢の魅力と活力の向上を図る！

【提案】

